

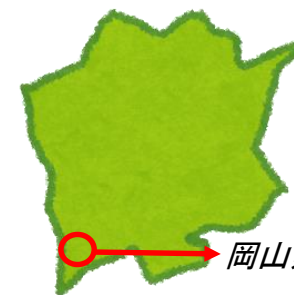
取組の概要

取組の概要 : 笠岡湾干拓地での大規模野菜産地の育成
 計画作成主体 : 笠岡市地域農業再生協議会
 対象品目 : たまねぎ (産地面積: 21.0ha)
 主な取組主体 : 有限会社エーアンドエス
 成果目標 : 販売額の10%以上の増加
 助成金の活用 : 生産支援事業
 状況

ポイント

加工用たまねぎの大規模機械化体系の確立による、販売額増加と産地強化。

地区の概要



岡山県笠岡市
笠岡市干拓(たまねぎ)地区

産地の現状と目標

〈現状: H27年度〉

作付面積 : 12ha
 出荷数量 : 576t
 販売額 : 241,567円/10a

〈目標: H31年度〉

作付面積 : 21ha
 出荷数量 : 1,117t
 販売額 : 266,000円/10a



推進体制

地域の関係者 (笠岡市地域農業再生協議会、井笠農業普及指導センター、笠岡市、倉敷かさや農業協同組合) が一体となり、事業を推進。

地域における独自の取組

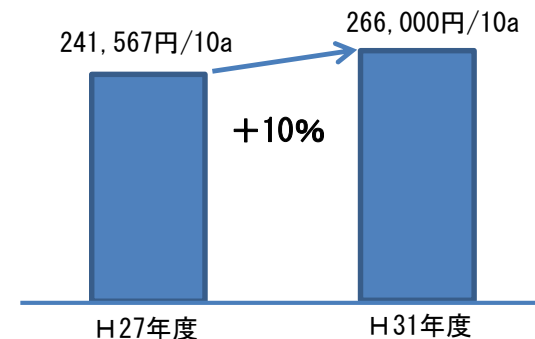
〈主な取組〉

- 加工用たまねぎの大規模栽培体系を確立。
- JAによるたまねぎ用集出荷施設整備を予定。

事業効果

- 大型高性能機械の導入により、効率的で大規模なたまねぎ生産が可能。
- 販売額の増加により、生産者の所得向上と産地強化を実現できる。

～たまねぎの販売額～



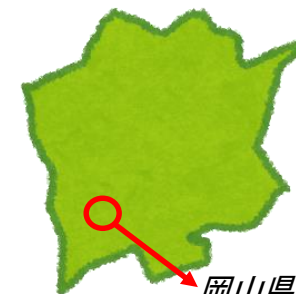
取組の概要

取組の概要 : 高性能選別機械の導入による集出荷コストの削減
 計画作成主体 : 矢掛町農業再生協議会
 対象品目 : アスパラガス (産地面積:6.0ha)
 主な取組主体 : 倉敷かさや農業協同組合
 成果目標 : 集出荷コストの10%以上の削減
 助成金の活用 : 整備事業 (集出荷貯蔵施設)
 状況

ポイント

アスパラガス画像処理自動選別機の導入により、選果体制整備及び全作業時間の圧縮による人件費、共選場コストの削減を実現。

地区の概要



岡山県小田郡矢掛町
矢掛町地区

産地の現状と目標

〈現状:H27年度〉

作付面積 : 4.16ha
 出荷数量 : 347,284束
 集出荷コスト : 87,662円/10a

〈目標:H30年度〉

作付面積 : 6.0ha
 出荷数量 : 527,872束
 集出荷コスト : 70,328円/10a



推進体制

地域の関係者 (県農業普及指導センター、矢掛町、倉敷かさや農業協同組合) が一体となり、事業を推進。

地域における独自の取組

〈主な取組〉

○新規就農実務研修者を部会で受入れ、意欲ある農業者を支援。

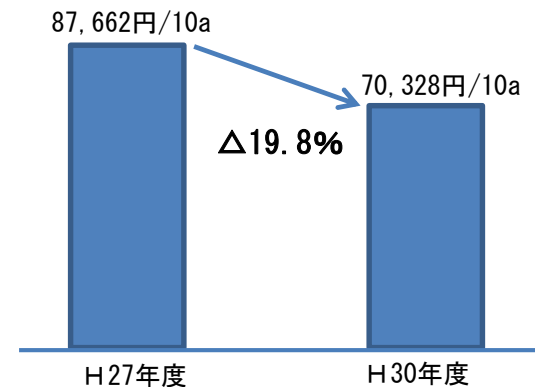
〈県・市町村単独事業〉

○「農業生産推進総合対策事業」によりパイプハウス、支柱を支援。

事業効果

○アスパラガス画像処理自動選別機の導入により、選果場での全作業時間の圧縮され、人件費、共選場コストの削減ができる。

～アスパラガスの集出荷コスト～



取組の概要

取組の概要 : 高品質果実の安定出荷の推進
 ①ぶどう選果場再編整備
 ②果樹棚等生産資材の導入

計画作成主体 : 真庭市農業再生協議会
 対象品目 : ぶどう (産地面積: 24.33ha)
 主な取組主体 : 真庭農業協同組合
 成果目標 : 販売額の10%以上の増加
 助成金の活用 : 整備事業 (集出荷貯蔵施設) ・ 生産支援事業 (果樹棚等の資材導入)

ポイント

選果場再編整備による一元的品質管理と出荷ロットの拡大による有利販売の推進及び生産資材導入による栽培面積拡大を図ることにより、販売額10%以上の増加を実現。

地区の概要



産地の現状と目標

〈現状: H27年度〉

作付面積 : 23.27ha
 出荷数量 : 117t
 販売額 : 367,399円/10a

〈目標: H31年度〉

作付面積 : 24.33ha
 出荷数量 : 153t
 販売額 : 490,505円/10a



推進体制

地域の関係者 (岡山県、真庭市、真庭農業協同組合) が一体となり、事業を推進。

地域における独自の取組

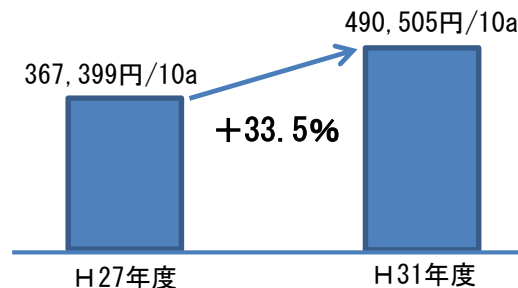
〈主な取組〉

○選果データを生産者に還元し、生産技術の向上を図る。

事業効果

- 選果場の再編整備による一元的品質管理と高品質果実の出荷ロット拡大による有利販売が可能になる。
- 生産資材の導入により、栽培面積の拡大が図られる。

～ぶどうの販売額～



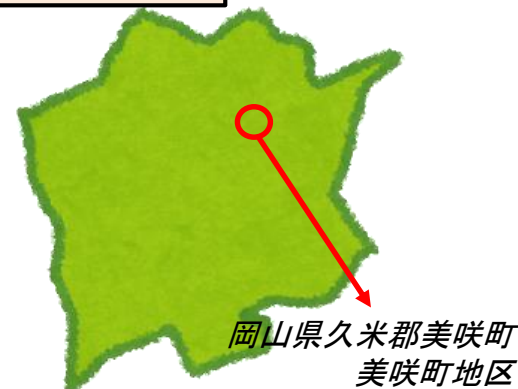
取組の概要

取組の概要 : 施設を組み合わせた産地規模の拡大
 計画作成主体 : 美咲町農業再生協議会
 対象品目 : ぶどう (産地面積: 43ha)
 主な取組主体 : 津山農業協同組合
 成果目標 : 販売額の10%以上の増加
 助成金の活用 : 生産支援事業 (パイプハウス等の資材導入)

ポイント

市場ニーズの高い施設ぶどうの栽培を推進することで、収量、販売単価が増加し収入が安定するとともに、露地栽培と合わせてリレー出荷が可能となり、販売額10%以上の増加を実現。

地区の概要



産地の現状と目標

〈現状:H27年度〉

作付面積 : 39ha
 出荷数量 : 304t
 販売額 : 634,366円/10a

〈目標:H31年度〉

作付面積 : 43ha
 出荷数量 : 383t
 販売額 : 735,417円/10a



推進体制

地域の関係者 (岡山県、美咲町、津山農業協同組合) が一体となり、事業を推進。

地域における独自の取組

〈主な取組〉

○中山間地域における水稲にかわる基幹作物として「ぶどう」を位置づけ、積極的に推進を行っている。

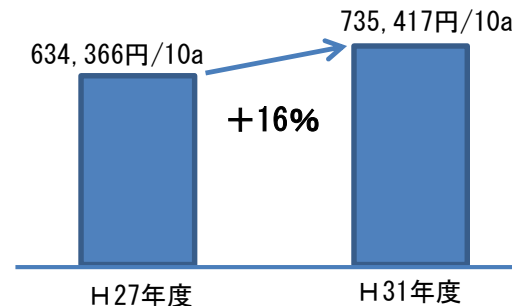
〈県・市町村独自取組〉

○町として「美咲ぶどう」の2kg箱を作成し生産者に配布、現在は一部補助を実施及び「ぶどう」はふるさと納税返戻品として使用している。

事業効果

- 施設化を推進することにより、市場ニーズが高い時期に販売量の増加が可能となり、品質も安定するため、販売単価の向上が期待できる。
- 生産量、販売額の増加により、生産者の所得向上につながり、ぶどうの産地力強化を実現。

～ぶどうの販売額～



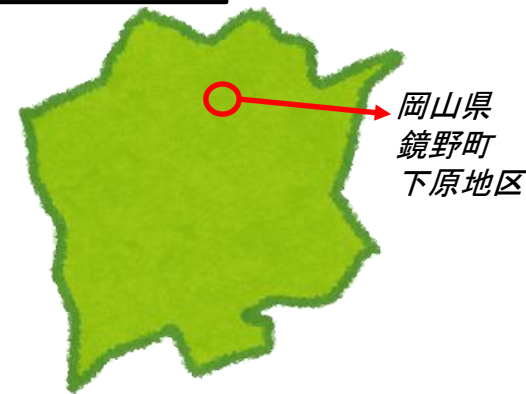
取組の概要

取組の概要 : 次代を担う産地強化への体制整備
 計画作成主体 : 鏡野町農業再生協議会
 対象品目 : トマト (施設野菜)
 (産地面積:2.6ha)
 主な取組主体 : 農事組合法人鏡野町水気耕生産組合
 成果目標 : 販売額の10%以上の増加
 助成金の活用 : 整備事業 (生産技術高度化施設(高度
 状況 環境制御栽培施設))

ポイント

水耕栽培ハウスに、環境制御装置を一元的に制御できる複合環境制御装置を備えることによって、ハウス環境の改善を図り、生産量の拡大と品質の向上により、販売額10%以上の増加を実現。

地区の概要



産地の現状と目標

〈現状:H27年度〉
 作付面積 : 2.5ha
 出荷数量 : 290t
 販売額 : 6,541千円/10a

〈目標:H30年度〉
 作付面積 : 2.6ha
 出荷数量 : 338t
 販売額 : 7,552千円/10a



推進体制

地域の関係者 (鏡野町、津山農業協同組合、岡山県) が一体となり、事業を推進。

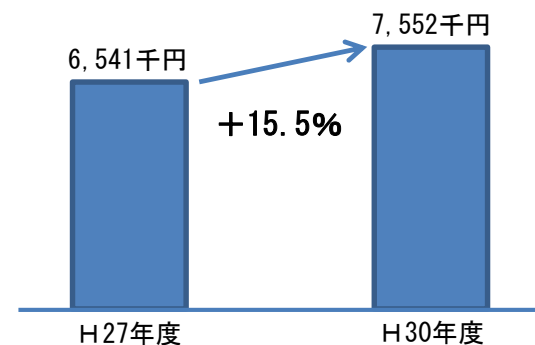
地域における独自の取組

〈主な取組〉
 ○西日本での水耕栽培の草分けとして30年以上にわたり高度な栽培を推進し、安全・安心な「ハイポニカ栽培トマト」として、地元直売所、スーパー等での直売や契約栽培に力を入れている。

事業効果

- 自動化された高度な複合環境制御装置栽培施設を導入することにより、生産の高度化により、生産量の向上、品質の向上に伴う販売単価の向上が期待できる。
- 販売額の増加により、生産者の所得向上につながり、トマトの産地強化を実現。

～トマトの販売額～



取組の概要

取組の概要 : 品質向上に向けた果樹棚等資材導入

- ①規模拡大に伴う果樹棚の導入
- ②施設化のためハウス資材等の導入
- ③品質向上に向けた栽培技術指導

計画作成主体 : 津山市農業再生協議会

対象品目 : ぶどう (産地面積: 14ha)

主な取組主体 : 津山農業協同組合

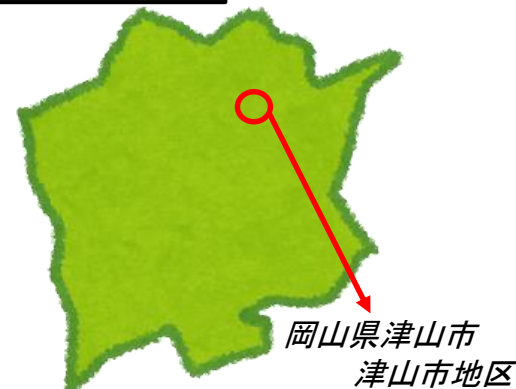
成果目標 : 販売額の10%以上の増加

助成金の活用 : 生産支援事業 (果樹棚、パイプハウス、資材導入)

ポイント

規模拡大による販売数量の増加、施設栽培と露地栽培を合わせたりレー出荷を推進するとともに、栽培技術を徹底することによる品質向上、販売額の増加を実現。

地区の概要



産地の現状と目標

〈現状:H28年度〉

作付面積 : 12ha

出荷数量 : 70.8t

販売額 : 530,862円/10a

〈目標:H31年度〉

作付面積 : 14ha

出荷数量 : 82.6t

販売額 : 602,341円/10a



推進体制

地域の関係者 (岡山県、津山市、津山農業協同組合) が一体となり、事業を推進。

地域における独自の取組

〈主な取組〉

- ぶどう産地の確立に向け、ピオーネ・シャインマスカット等を地域振興作物に位置づけ、栽培を推進。

事業効果

- 資材導入による規模拡大や、栽培技術の徹底による品質向上により、販売数量の増加が期待できる。
- 販売数量、販売額の増加により、生産者の所得向上につながり、ぶどうの産地力強化を実現。

～ぶどうの販売額～

